

◎ 社会部門（中）

天草支部	会長 有馬 恭彦 (天草市立栖本中学校)	研究部長 中山 俊輔 (天草市立本渡中学校) 事務局長 岸谷 祐太郎 (上天草市立竜ヶ岳中学校)	会員 23名
------	-------------------------	---	-----------

1 活動

月日（曜日）	事業内容（場所）	人数
6月2日（金）	第1回天草郡市小中合同研究委員会（天草教育会館）	6名
6月30日（金）	天草郡市中学校社会科部門 第1回定例会（天草教育会館） ※天候不良により中止	23名
8月4日（金）	天草郡市中学校社会科部門研修会（天草教育会館）	26名
11月1日（水）	令和5年度熊本県中学校社会科教育研究大会 荒尾玉名・山鹿大会	3名
2月22日（木）	第2回天草郡市小中合同研究委員会（天草教育会館）	6名

2 主な活動内容（天草郡市中学校社会科部門研修会）

(1) 研究主題

「よりよい社会の担い手に必要な資質・能力を育む学びの創造」
～社会的な見方・考え方を働かせる「問い」を通して～（検討中）

(2) 部門別研修

① 授業づくりについての意見交換会

② パネルディスカッション

パネラー

○熊本大学大学院教科教育研究所 藤瀬 泰司 教授

○苓北町教育委員会教育指導員 高木 政光 先生

○天草市立牛深中学校校長 岡田 真治 先生

3 研究活動の成果と課題

本年度は研究員のメンバーが一新したこともあり、本来ならば授業公開の年であったが、研究の方向性を揃えるため、天草郡市の社会科が組織としてどのような授業づくりを行っていくかの足元を固めるための研修会を開催するように変更した。本研修会では、熊本県の研究をリードされる藤瀬教授に理論面を、これまで天草の社会科をリードしてこられた高木先生・岡田先生に授業を進める上での具体的な実践事例を示していただき、様々な社会科の授業観に触れることができた。天草の社会科教員の構成を見ると、若手からベテランまで幅広いメンバーが揃っている。今後はそのメリットを生かすことができるよう、これまで地域ごとに分けていた研究体制を変更し、地理・歴史・公民の三分野制に変更して研究を進めることにした。これにより、地域が南北に広い天草のデメリットを克服し、組織としての授業づくりができることを目指していきたい。

4 今後に向けて

本年度、研修会を行い得ることができた理論面・実践面の知識を具体化するために、県の社会科研究会と研究の方向性を意識した天草郡市としての研究テーマの設定を行う。また、次年度、歴史的分野での授業公開を行うことが決定していることから、授業者と連携し組織での授業づくりを進めていきたい。